

第1回我孫子市部活動地域移行検討委員会

我孫子市教育委員会
(文化・スポーツ課・指導課)

令和5年8月2日

(1)部活動地域移行の概要

部活動の「地域移行」とは？

学校部活動は、生徒が自主的に参加し、部活動の責任者である「部活動顧問」のもとで、学校教育の一環として実施されてきました。しかし、少子化が進展する中で、以前と同じ形態で学校部活動を運営することが困難となってきたことや、学校においても働き方改革が求められる中で、これまでの指導体制を見直す必要が生じてきました。

スポーツ庁及び文化庁では、令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図ることとし、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」をもとに、**令和5年度から7年度の3年間を改革推進期間**として、地域の実情に応じて段階的に学校部活動を地域の団体が運営主体となる「地域クラブ活動」への移行を目指すとなりました。

地域移行とは⇒

教育の一環として学校で担っていた部活動を「**地域のスポーツクラブ**など」に移行すること。

運動部に限らず**文化系の部活動**も地域移行されます。



- ・スポーツ協会
- ・スポーツ少年団
- ・文化団体
- ・総合型地域スポーツクラブ
- ・民間企業 など



●なぜ移行するのか



・少子化により現在と同様の形で実施することが困難。

(例：チームが単独で組めない)

・生徒の多様なニーズ

(例：やりたい部活動がない、専門的な指導を受けたい、楽しみたい)

・教員の負担増

(例：時間外勤務の増加、専門外でも指導を行わないといけない)

学校だけで維持していくのは難しくなっている



スポーツ・文化芸術活動に継続的に親しむことができる機会の確保するために**地域移行**を推進します。



(2) 我孫子市内の部活動の現状

別紙「令和5年度第1回学校部活動地域移行検討委員会資料」参照(P1～P6)

(3) 他市の状況

別紙「令和5年度第1回学校部活動地域移行検討委員会資料」(P7)



(4) 部活動地域移行の方針

我孫子市における「地域移行」

国・県の方針を踏まえ、我孫子市においても1月以降に市内の中学校での部活動の実態調査、教員向けアンケートを実施する一方、市内スポーツ団体等との懇談会を実施し、その結果令和5年度に行政、学校、保護者、市民団体を交えた「**我孫子市部活動地域移行検討委員会**」を立ち上げ、意見交換を通じて、子どもたちの受け入れに関する課題や問題点を整理し、円滑な地域移行につなげていくこととしました。

地域移行を進めるにあたっては、子どもたちの継続的な活動の場の確保、文化・スポーツ活動の支援を第一に考えます。

検討が必要な事項（一例）

- ・子供の受け皿の検討
- ・施設の問題（管理・修繕）
- ・指導者の確保
- ・公認制度の検討
- ・大会の参加（ガイドラインの遵守）
- ・コーディネーターの配置検討・養成

想定されるスケジュール

R5 一部部活にて部活動指導員を配置

R6 市内の複数部（休日）を地域移行

R7 さらに休日の地域移行を拡大

R8以降

実情に応じて平日の地域移行を目指す



現状での取り組みと課題

①学校での取り組み

既に中学校において活動されている市民の指導者を「部活動指導員」として雇用し、子供たちへの専門的な指導や教員の負担軽減に努めると同時に、その効果について図っていきます。

②地域クラブ活動の大会参加

令和5年2月10日、千葉県小中学校体育連盟から「令和5年度千葉県中学校総合体育大会について」通知があり、参加資格を満たした「地域クラブ活動」は全国中学校体育大会への参加を認められ、大会参加の実施要領が示されました。これによると、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を遵守すること、学校部活動と地域スポーツクラブでの重複エントリー禁止、大会運営への協力などの要件を満たしたものを特例として認める、というものです。

③公認制度の導入検討

今後の地域クラブ活動については、大会等への参加の道筋を付けるためにも、一定の基準（「ガイドライン」の遵守、団体保険加入、指導者資格取得など）を満たした団体を「（仮称）我孫子市公認地域クラブ活動団体」として公認し、活動場所の優先予約、国の補助金交付などを通じて活動支援を行う必要があります。

④コーディネーターの養成

地域クラブ活動が活発化することにより、活動場所として中学校の体育館、校庭などの使用希望が増える可能性があることから、シフト調整を担う「コーディネーター役」が必要となりますが、担い手については課題となっています。



⑤補助金の効果的な活用

国は「部活動地域移行促進公立学校施設整備費」という施設改修等が中心の補助金を用意しています。また、県では「千葉県部活動の地域移行に向けた環境整備事業及び部活動指導員配置事業補助金」を設けており、地域移行を進めるにあたっては、これらの補助金を活用していきます。

今後、地域移行の進捗とともに新たな補助メニューが示されることも想定され、動向に注視することが必要です。なお、補助金を活用するためには、補助対象施設の利活用に係る計画等を策定する必要があるため、関係課との調整が不可欠となります。

⑥計画の策定

地域移行を進めていくにあたり、移行のスケジュールや方向性を示すため、計画を策定する必要があります。

令和5年度は、検討委員会にて課題等の検討、令和6年度に計画を策定します。

⑦先行的な取り組み

今年度から、野球及び陸上の有志がクラブを立ち上げ、先行的に活動を始めています。同クラブとは定期的に連絡を取り合い、課題点の共有を行い、今後活動開始が見込まれる地域クラブ活動に反映させたいと考えています。

先行事例

●我孫子ベースボールクラブ(野球)

湖北台中学校を拠点に、土・日曜日に活動。
湖北台中学校以外の生徒も所属。

●AAAC(陸上)

白山中学校を拠点に土・日曜日に活動。
白山中学校陸上部、小学生を対象に活動予定。



【基本方針】

「部活動の地域移行を通じ、子どもたちの文化・スポーツ活動を支援します。」

様々な要因から地域移行を推進していく必要がありますが、子供たちを第一に考えた検討が必要です。

持続可能なスポーツ・文化芸術活動にしていくために地域移行を推進します。

